



2020年11月5日

各 位

会 社 名 日 本 アジアグループ株式会社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 山 下 哲 生
(コード番号 3751 東証第一部)
問 合 せ 先 取 締 役 西 田 信 一
TEL (03)4476-8000(代表)

2021年3月期 上半期 決算説明資料に関するお知らせ

当社はこのたび、「2021年3月期上半期決算説明資料」を公開いたしましたので、別紙の通りお知らせいたします。

(別紙)

開示資料

『2021年3月期上半期決算説明資料』

以上



2021年3月期 上半期 決算説明資料

2020年11月05日

日本アジアグループ株式会社

証券コード3751

21/3期 第2Q 連結決算 要旨



Point1

Xacti (ザクティ) を除く

空間情報事業とグリーン・エネルギー事業は順調に推移

コロナ禍にてXactiの回復遅れる、他事業の増益で上期営業利益の黒字を確保

Point2

Xactiは、引き続き経営改革推進中

コスト層見直し、オリジナルブランド製品の開発・販売を急ぐ

(百万円)	20/3期2Q	売上比 (%)	21/3期2Q	売上比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	44,398	100.0	40,065	100.0	△4,332	△9.8
営業利益	△165	△0.4	1,102	2.8	1,267	—
経常利益	△1,148	△2.6	314	0.8	1,462	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,013	4.5	△497	△1.2	△2,510	△124.7

21/3期 第2Q連結決算 要旨



売上高

- デジカメ市場縮小、コロナ禍影響し、Xacti38億円減収が大きく響く
- 孫会社（エオネックス、利水社）譲渡（4/1）は前年比減収要因
- 主力の国際航業とJAG国際エナジーはともに増収を確保し好調続く

営業利益

- 空間情報は営業損失19億円（うち Xactiの営業損失12.8億円）
- 太陽光発電 売電事業が好調、空間情報のマイナスをカバーし3期ぶり黒字化達成

経常利益

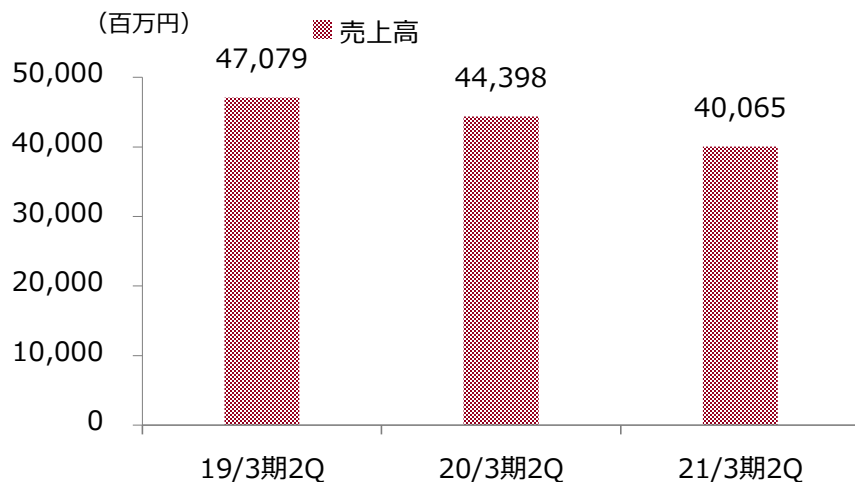
- 主に雇用調整助成金、支払利息減により、営業外収支は前年比約2億円改善

特別利益

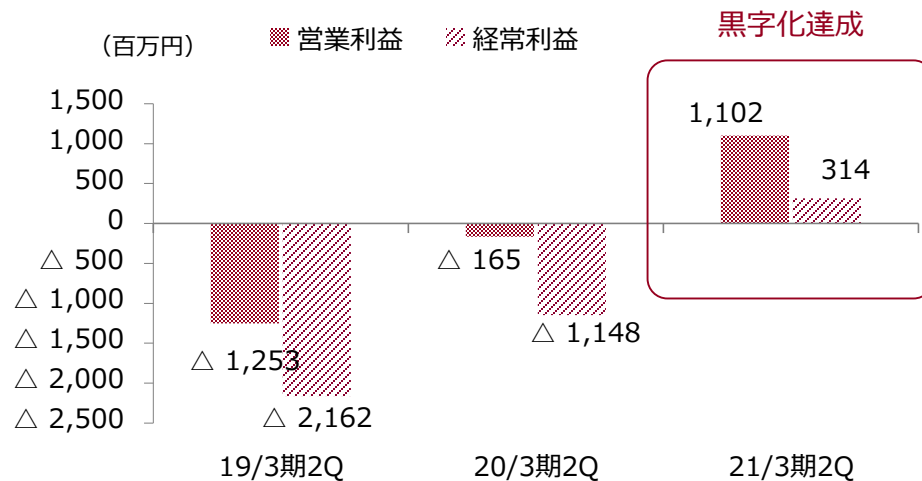
- 孫会社譲渡により、特別利益2.2億円計上

注1) 空間情報事業：国際航業は3月納期案件が多く、Xactiは開発売上が期末に集中するため、上半期に費用が先行しトータル利益は第4Qに集中する傾向にあります。

売上高の推移



営業利益/経常利益の推移



21/3期 第2Q セグメント別要旨



空間情報事業

- 主力の国際航業（単体）は増収増益を達成し上半期で黒字化、コロナ禍の影響軽微、生産効率化に努力
- Xactiの決算は、デジカメ市場の更なる収縮とコロナ禍で、売上高43億円（△47%）、営業損失12.8億円

グリーン・エネルギー事業

- 昨年度開発した太陽光発電施設増加、好天による安定した発電量が寄与し好調維持、大幅な増収増益を達成

森林活性化事業

- 森林活性化事業もコロナ禍影響しKHC減収・減益、JAGフォレストは森林不動産取引支援の問合せ増加中

セグメント	(百万円)	20/3期2Q	21/3期2Q	増減額	増減率 (%)
売上高		44,398	40,065	△4,332	△9.8
営業利益		△165	1,102	1,267	-
空間情報事業	売上高	29,207	23,479	△5,728	△19.6
	営業利益	△2,867	△1,900	966	-
グリーン・エネルギー事業	売上高	8,500	10,157	1,656	19.5
	営業利益	2,507	2,884	376	15.0
森林活性化事業	売上高	6,674	6,412	△261	△3.9
	営業利益	226	158	△67	△29.9
その他	売上高	15	15	0.7	4.3
	営業利益	△31	△39	△7	-

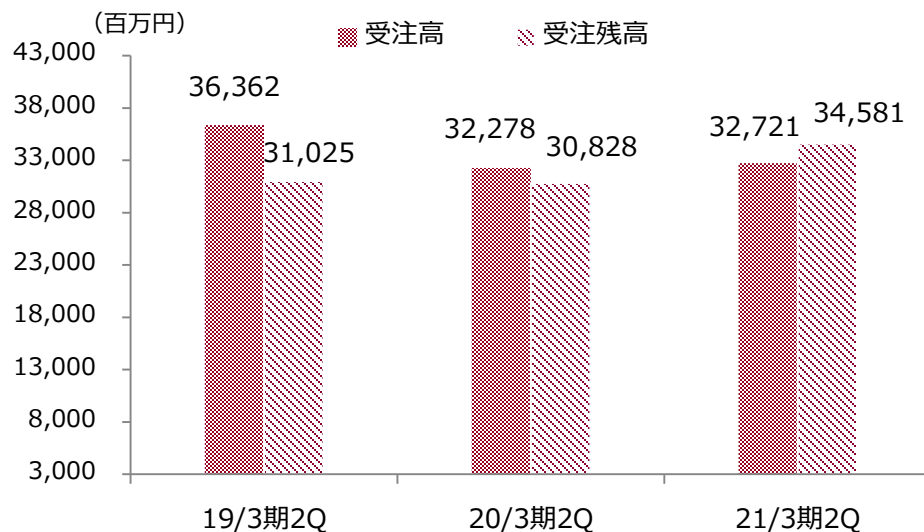
空間情報事業 決算要旨 1



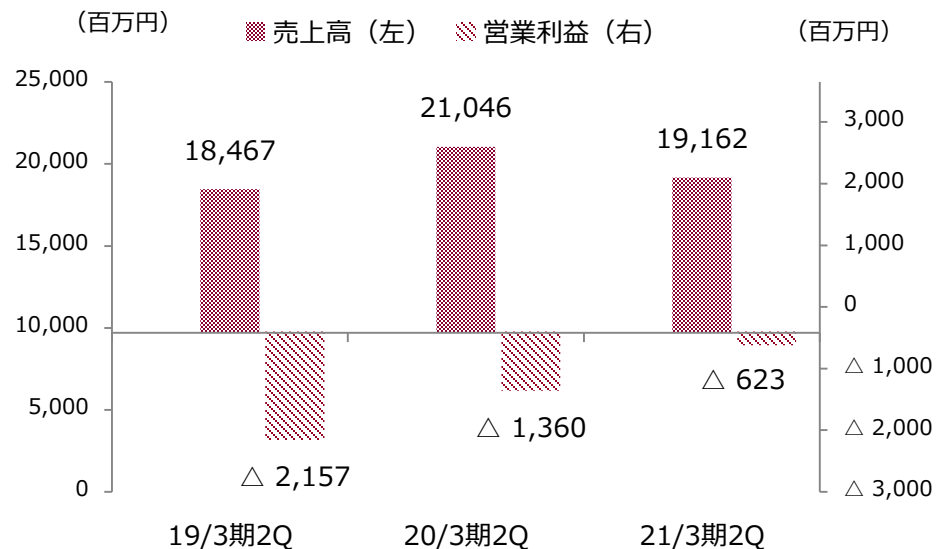
空間情報事業

- 国際航業の受注高は前年同期を上回り好調、明治コンサルはコロナ禍の影響受け一部生産遅延が発生
- 受注高は、防災・減災対策、国土強靱化のための公共事業予算執行があり、航空レーザ測量、三次元データ取得、防災・災害対応（地すべり、砂防等）など幅広い分野で順調に推移、受注残高は高水準
- 売上高は、主力の国際航業は微増収、明治コンサル減収と孫会社譲渡が影響し前年比マイナス
- 営業利益は、国際航業の外注費、現地調査費等の原価が改善、出張旅費等の販管費も改善し利益率向上

空間情報（除くXacti） 受注高/受注残高 の推移



空間情報（除くXacti） 売上高/営業利益 の推移



注) Xactiを除いた空間情報事業の受注高ならびに収益を表示。

空間情報事業 決算要旨 2



イメージソリューション事業

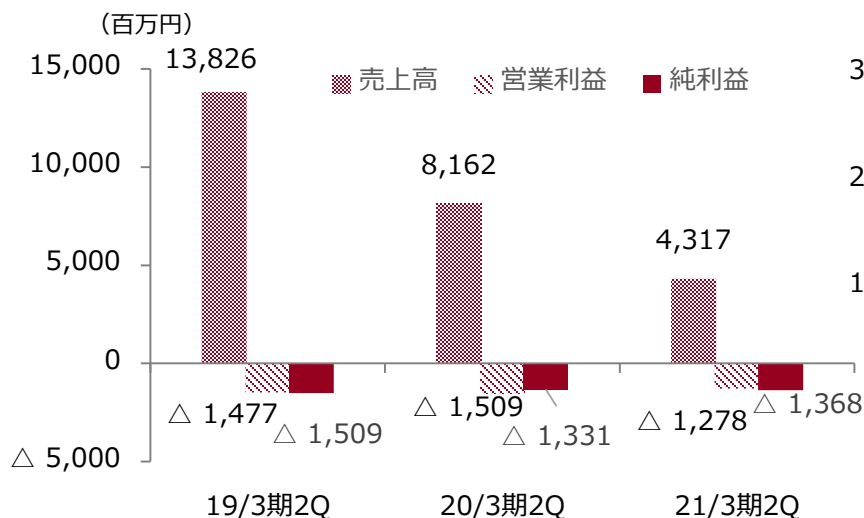
決算

- 今期黒字転換を目指した上半期だったが、前期Q4に貢献したドラレコがコロナ禍で不振
- 主力OEM事業も、デジカメ市場の縮小が加速、コロナ禍の影響により完成品販売台数も大幅ダウン、前年比大幅減収（△47%）となった

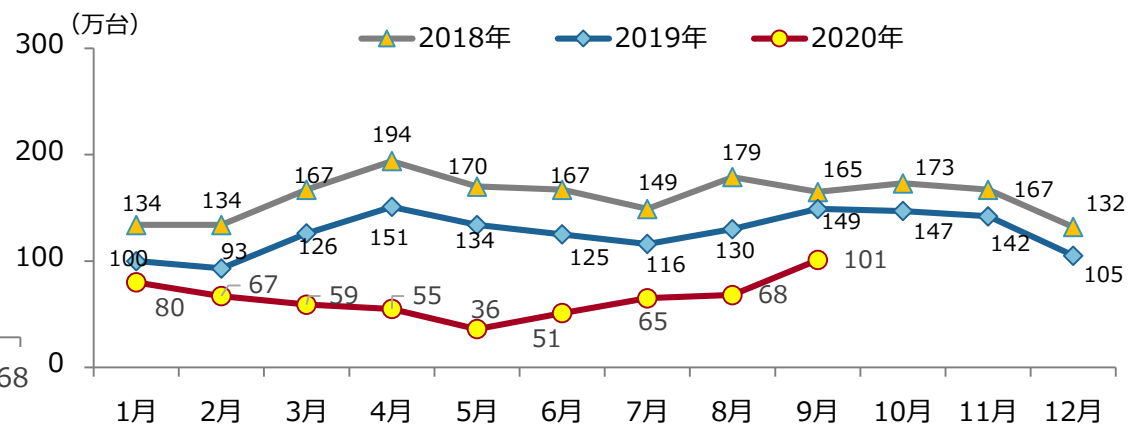
改善策

- 出荷減に伴う製造経費減少、固定費削減に一層努力したものの営業損失12.8億円
- ウェアラブルカメラの開発・販売、使用現場に沿ったソリューション型販売を強化
- 各メーカーの事情に合わせ、あらたな製品開発を柔軟に企画・提案
- インドネシア工場を有効活用したEMS生産や、「体温測定・AI顔認識カメラ」等の商品販売にも注力

ザクティ 売上高/営業利益 前期比較



デジカメ市場 月次出荷台数の推移 前年比較



(カメラ映像機器工業会資料よりJAG作成)

グリーン・エネルギー事業 決算要旨



売電事業

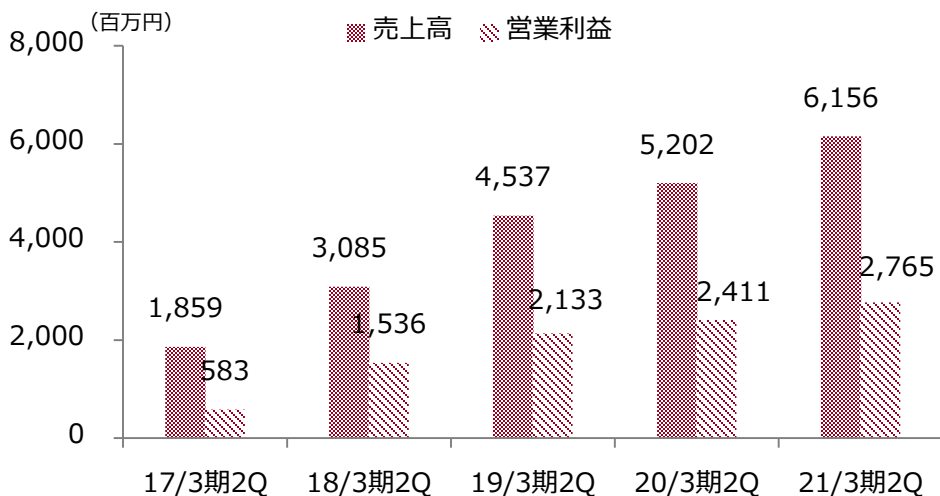
太陽光発電所開発は 全国**103箇所**、合計稼働出力**246MW** の規模にまで拡大中

2Q 竣工案件

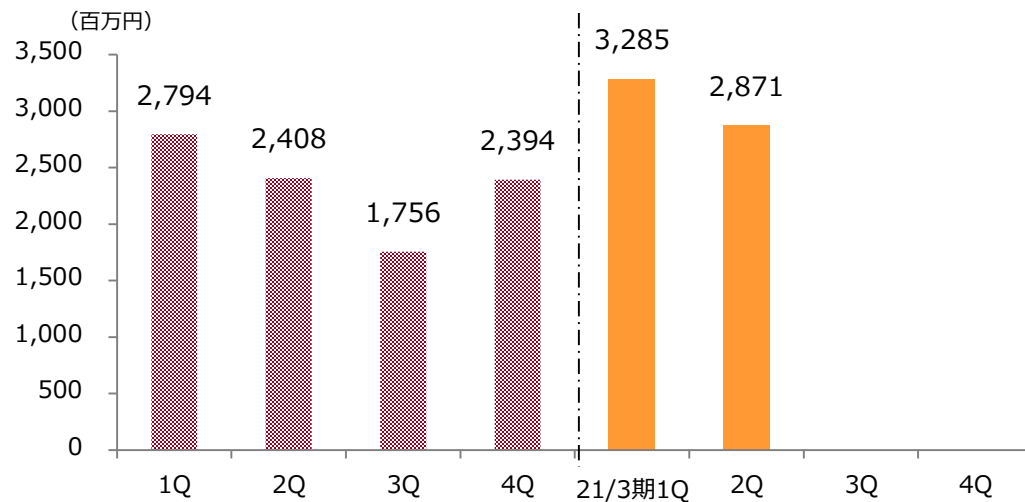
SW	MW
宇部市川上	0.8
宇部市文京台	1.0



売電事業 売上高、営業利益の推移



売電事業 四半期別売上高の推移



森林活性化事業 決算要旨



森林活性化事業

JAG フォレスト

- 収益化に向け徳島三好森林での林業生産継続中
- 森林不動産情報サイト「森林.net」は、物件情報、取引問合せ増加中

坂詰 製材所

- コロナ禍の影響なし、増収増益を達成
- 昨年度加工能力増強、製材生産量は新潟県内No 1

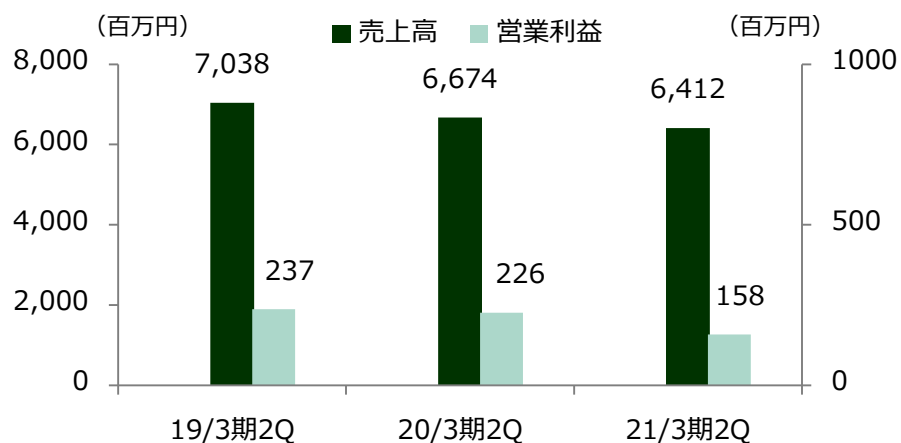
KHC

- コロナ禍影響も、夏場以降は受注好転・活発化
- 住宅ローン減税特例措置は追い風

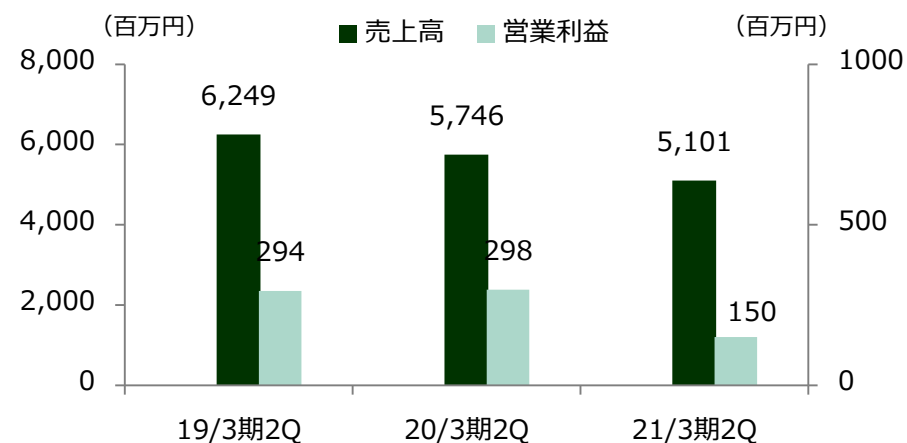
木村 産業

- 2019年10月より連結化し、今期よりフルに寄与
- 売上高、営業利益ともに計画線

森林活性化事業の業績前年比較



KHCの業績前年比較

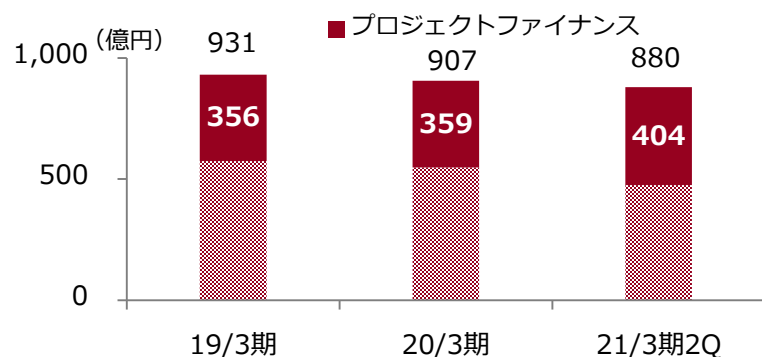


B / S 主な増減要因分析

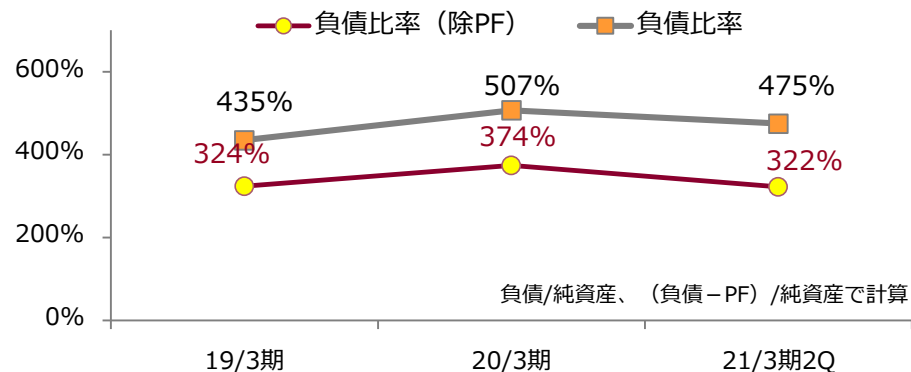


(百万円)	20/3期	21/3期2Q	増 減	主なコメント
流動資産	74,096	64,539	△9,556	
現・預金	25,711	30,033	4,321	
受取手形・売掛金	31,784	17,288	△14,496	期末は高水準だが、上半期に回収進む
固定資産	87,831	86,104	△1,726	
有形固定資産	70,485	69,069	△1,416	
無形固定資産	4,006	3,824	△181	
投資その他	13,338	13,210	△127	
資産合計	163,383	151,895	△11,487	
流動負債	51,276	38,387	△12,889	短期借入金返済、未払金決済
固定負債	85,218	87,101	1,883	SW用プロファイ増46億円、社債減19億円
(有利子負債)	90,737	88,052	△2,685	内プロファイ404億円(前期末359億円)
純資産	26,888	26,406	△481	利益剰余金減
負債・純資産合計	163,383	151,895	△11,487	

有利子負債、プロジェクトファイナンスの推移



プロジェクトファイナンスを除く負債比率の推移





「Save the Earth, Make Communities Green」

本資料に記載されている将来に関する記述および数値は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

お問合せ先： 日本アジアグループ株式会社

コーポレート・コミュニケーション部

TEL : 03-4476-8007

FAX : 03-3217-1810

E-mail : ir@japanasiagroup.jp

URL : <https://www.japanasiagroup.jp/>